

日本蚕糸絹業開発協同組合

新小石丸



日本蚕糸絹業開発協同組合

〒370-0006 群馬県高崎市間屋町3-5-3 TEL/FAX 027-361-2377

協力／群馬県稚蚕共同飼育所連絡協議会・新小石丸養蚕農家・確水製糸農業協同組合・南久ちりめん株式会社

新小石丸

- 蘭と糸と織の風土記 -



一枚の美しいきものの完成までには様々な過程を踏まなければなりません。

この「きもののかず」といべき素材は生糸です。

その生糸の最高峰「新小石丸」誕生の物語です。

皇居宮殿北、小高い丘に広がる御養蚕所は紅葉山と呼ばれています。

この紅葉山御養蚕所で歴代の皇后陛下が飼育されているのが「小石丸」です。

江戸時代から明治期を中心に飼育され、

絹の染色作家の間では”糸味の良い絹糸”として珍重される伝説的な品種です。

この「小石丸」を今の養蚕技術に合わせて改良したものが「新小石丸」です。

蘭は小粒で、太さにムラのない良質な細繊度の生糸がこれ

群馬県のオリジナル蚕品種の中でも和装用素材として最高の評価を得ています。

養蚕農家、製糸会社、製織会社、販売会社までが垂直連携の

「新小石丸」100%使用の最高級の白生地をここにつくりあげました。



上州と近江のコラボレーション

世界の白生地



まゆ

水はけの良い中山間地が多い上州が全国一の養蚕県となりえたのは、何代も続く養蚕農家に支えられ、風土に合った良質の桑が育ったからです。養蚕とは、不思議な仕事です。

「新小石丸」の蚕種から蚕の誕生。

蚕は世話のかかる生き物。“人間と一緒に”といわれています。蚕は自分でエサを取ることは出来ず、与えられた人工飼料、桑の葉を食べて成長し、二昼夜休みなく命をかけて吐いた糸で立派な「新小石丸」の繭をつくりあげます。

いと

上州と信州との境、日本有数の避暑地軽井沢にほど近いところに源を発する碓氷川。

製糸には大量の清らかで冷たい水が欠かせません。

この碓氷川の清流が選りすぐられた「新小石丸」の繭から糸を引き出し、素晴らしい輝きのある「新小石丸」の生糸に変身させるのです。

おり

その昔、天下分け目の合戦があつた関ヶ原を望む伊吹山の良質な伏流水が琵琶湖に注ぐ近江は湖北の長浜の地。ここは、絹織物に最適の湿度と環境が整っています。ここで伝統の技、松波ちらめんに依り織細なしなやかさと、細やかで抜群の染色性をもつ「新小石丸」の白生地に生まれかわります。

まゆ・いと・おり

人々は一本の細く長い糸にそれぞれの願いを込めます。
いとわぬ努力で、それぞれの「新小石丸」に情熱をそそきます。
こだわりの逸品、神祕の絹「新小石丸」白生地の誕生です。



シルク プロセッシング

「新小石丸」ものがたり

繭



桑園管理

良い繭は、蚕に良い桑を与えてこそ。蚕は病気や環境の変化に弱いだけに気配りが大変です。

糸



碓氷製糸農業協同組合

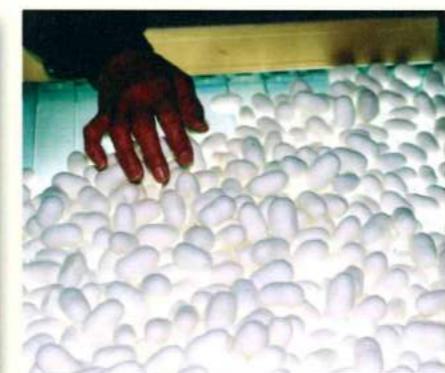
上毛三山の一つ妙義山の荒々しい岩肌がせまり、碓氷川の清流のほとり。糸づくりに最適の環境です。

織



桑の葉を食べる蚕

1~3歳の蚕は群馬県内にある稚蚕共同飼育所で丁寧に育てられ、4~5歳は各養蚕農家にて桑の葉を食べて大きくなります。この間、4回の脱皮を繰り返し、生まれた時の1万倍の大きさに育ちます。



選繭

汚れた繭や、いびつの繭を取り除き、選りすぐられた繭だけが煮繭・織糸を経て糸になります。



仕上げ・出荷

最終の品質検査をされた「新小石丸」の生糸はきれいに束ねられ、長浜に向かって出荷されます。



揚返し

織糸された濡れたままの生糸を乾燥させながら、更に巻き取り返します。



縫糸

碓氷川の清流の水を利用して、数個の繭からほぐれた糸を抱き合わせて一本の生糸にします。



「新小石丸」完成

検査された製品に、種々の押印・装丁が施され、「新小石丸」白生地の完成です。



検品

精練の後、脱水・乾燥・整理・仕上げを経て、検査員によって一点づつ厳重な検査がなされます。



精練

織り上がったちりめんに含まれるセリシン・ニカワ質・汚れなどを煮沸によって落とす作業です。



製織

適正な温度・湿度に保たれた環境で、最新の設備、熟練した技に加え、細心の注意を注ぎ織り上げていきます。



八丁撚糸

靈峰伊吹山の雪解けの伏流水をふんだんに使用し、よこ糸に強い撚りをかけます。ちりめんの独特的のシボ、柔らかい風合いはこの強撚糸によって生まれます。



南久ちりめん株式会社

はるかな歴史のロマンが往き来した旧北国街道沿いにあり、工場内には年間を通して温度が変わることのない伊吹山の伏流水がこんこんと湧き出ています。